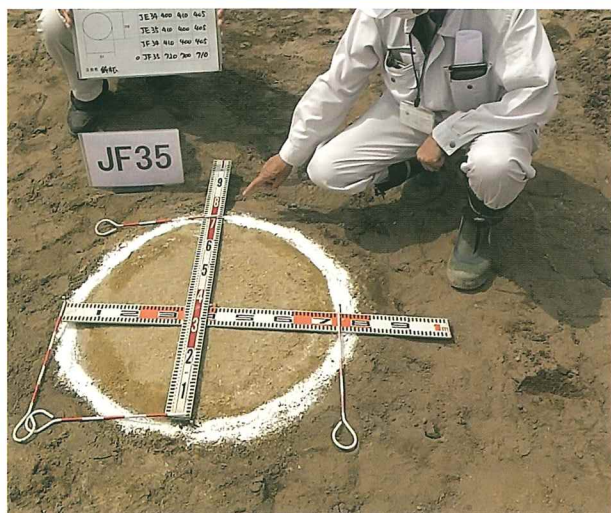


KS-EGG工法は、
静かな施工で
地盤を築きます。



施工状況

出来上がり杭径(φ700mm)



施工機全景

依頼者

あおみ建設株式会社

技術内容および報告書入手に関するお問い合わせ先

報告書(審査技術の詳細)の入手を希望される方は下記までお問い合わせ下さい。

法人名 あおみ建設株式会社

部署 技術事業本部 技術管理部

住所 東京都千代田区外神田二丁目2-3 住友不動産御茶ノ水ビル

TEL 03-5209-7761(代表) URL <https://www.aomi.co.jp/>



本概要書は、一般財団法人国土技術研究センター(JICE)が行った「建設技術審査証明事業(一般土木工法)」の結果を、広く関係各位に紹介する目的で作成したものであります。

一般財団法人国土技術研究センター(JICE) <https://www.jice.or.jp/>

建設技術審査証明協議会 <https://www.jacic.or.jp/sinsa/>

建設技術審査証明事業(一般土木)

概要書

KS-EGG工法/ KS-EGG-SE工法 (低振動・低騒音の静的締固め地盤改良工法)



審査証明書

技術名称: KS-EGG工法/ KS-EGG-SE工法
(低振動・低騒音の静的締固め地盤改良工法)

技審証第55号

(開発の趣旨)

地盤の液状化対策工法として、地盤中に締固め杭を造成し密度を増大させて液状化抵抗を高めるサンドコンパクションバイブル工法がある。この工法は、これまでパイロハンマーの起振力を用いて動的に改良を行う振動式サンドコンパクションバイブル工法(以下、「振動式SCP工法」という。)が主流であった。近年では液状化対策工法としての需要の増加に伴い、市街地周辺での施工が求められるケースが増加していることから、このような現場下では振動・騒音の大きい振動式SCP工法による施工が困難となる場合が多くなってきていることに加え、都市再生事業等で発生するリサイクル材の有効に活用する必要も生じている。KS-EGG工法およびKS-EGG-SE工法は、低振動・低騒音での施工が可能であり、十分な締固め能力を有する静的締固め地盤改良工法を開発したものであり、現在求められている社会のニーズに応えられる市街地周辺での液状化対策工法として社会に提供することを開発の趣旨とする。

(開発目標)

- (1) 砂質土盤に適用した場合の地盤の締固め効果は、振動式SCP工法と同等程度であること。
- (2) 低振動・低騒音が求められる現場下で施工が可能となること。

建設技術審査証明事業(一般土木工法)実施要領に基づき、依頼のあった「KS-EGG工法/ KS-EGG-SE工法(低振動・低騒音の静的締固め地盤改良工法)」の技術内容について下記のとおり証明する。

令和5年3月31日

建設技術審査証明協議会会員
一般財団法人 国土技術研究センター

理事長 徳山日出男

記

1. 技術審査の結果

上記、開発の趣旨及び開発目標に照らして審査した結果、以下の結論を得た。
(1) 砂質土盤に適用した場合の地盤の締固め効果は、振動式SCP工法と同等程度であることが確認された。
(2) 低振動・低騒音が求められる現場下で施工が可能となることが確認された。

2. 技術審査の前提

技術審査は、依頼者の責任において適正に設計が行われ、適正な材料・機械を用いて、適正な施工及び品質管理が行われることを前提に、依頼者から提出された資料に基づいて行われたものである。

3. 技術審査の範囲

技術審査は、依頼者より提出された開発の趣旨及び開発目標に対し、設定した確認方法により確認した範囲とする。

4. 技術審査の詳細

(別添)

5. 審査証明書の有効期間

審査証明日～令和10年3月30日

6. 依頼者

あおみ建設株式会社 (東京都千代田区外神田二丁目2番3号)

令和5年3月

建設技術審査証明協議会会員
一般財団法人 国土技術研究センター (JICE)

